

にちなん 議会だより

第49号

令和3年
5月1日発行

主な内容

第3回定例会の概要……………	P2
可決した決議……………	P4
委員会審査の概要……………	P6
特別委員会活動中間報告……………	P9
市政を問う一般質問……………	P11
委員会意見交換会開催報告……………	P17
審議結果一覧……………	P18

■今号の表紙■

大手門の桜の風景

検証と再発防止を求める決議」などを可決 継続的な「骨格予算」を編成～

令和3年第3回定例会は、令和3年2月24日から3月18日までの23日間開催され、令和2年度一般会計補正予算及び令和3年度一般会計予算をはじめとする市長提出議案や議員提出議案など、あわせて45件を審議しました。(審議結果につきましては、18ページの「審議結果一覧」をご覧ください。)

令和2年度関連議案

■令和2年度日南市一般会計補正予算(原案可決)

令和2年度一般会計補正予算の補正額は13億9649万5千円で、補正後の予算総額は398億7849万5千円となりました。

新型コロナウイルス感染症対策として、感染症拡大により影響を受けた市内事業者への支援と市民の消費喚起を促すための、にちなん応援プレミアム付商品券発行事業や、光通信設備未整備地域への整備に対する工事負担の追加、小中学校における感染症対策等の学校教育活動継続支援事業などをはじめ、国の補助事業を活用した小中学校の施設改修事業、財政調整基金等への基金積立金等について追加計上するとともに、事業の実施見込みに伴い地元事業者事業継続支援事業等の減額を行いました。

《補正予算の主な事業》

◇新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

〔3億5108万5千円〕

円滑に新型コロナウイルスワクチン接種の実施ができるよう、市民からの問い合わせ・接種会場確保等、実施に必要な体制構築及び接種費用に要する経費です。

◇総合交通対策事業(新型コロナウイルス対策)
〔951万6千円〕

宮崎交通が発行する65歳以上の高齢者を対象とした定期券「悠々パス」の購入支援を行うものです。

支援額：購入費用150000円のうち120000円補助

令和3年度関連議案

■令和3年度日南市一般会計予算(原案可決)

本市財政は、ふるさと応援寄附金の大幅な増があるものの、自主財源の割合が歳入全体の約3割であり、地方交付税などの依存財源に大きく頼らざるを得ない状況が続いており、加えて今後の新型コロナウイルス感染症対応に対する緊急的な財政負担

等先行きが不透明な中、基金積立金残高が少ないなど、非常に脆弱な財政基盤です。

令和3年度の当初予算は、健全な財政運営を維持しつつ、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」持続可能な社会を目指して」を中期ビジョンとする重点戦略プランに基づき、4つの戦略に財源を配分した予算編成となっています。

その上で、令和3年度は4月に市長選挙を控えていたため、一般会計につきましては、恒常的、継続的な事業について措置する、いわゆる「骨格予算」が編成されました。各事業及び議案の概要については、4ページ以降の委員会審査の概要をご覧ください。

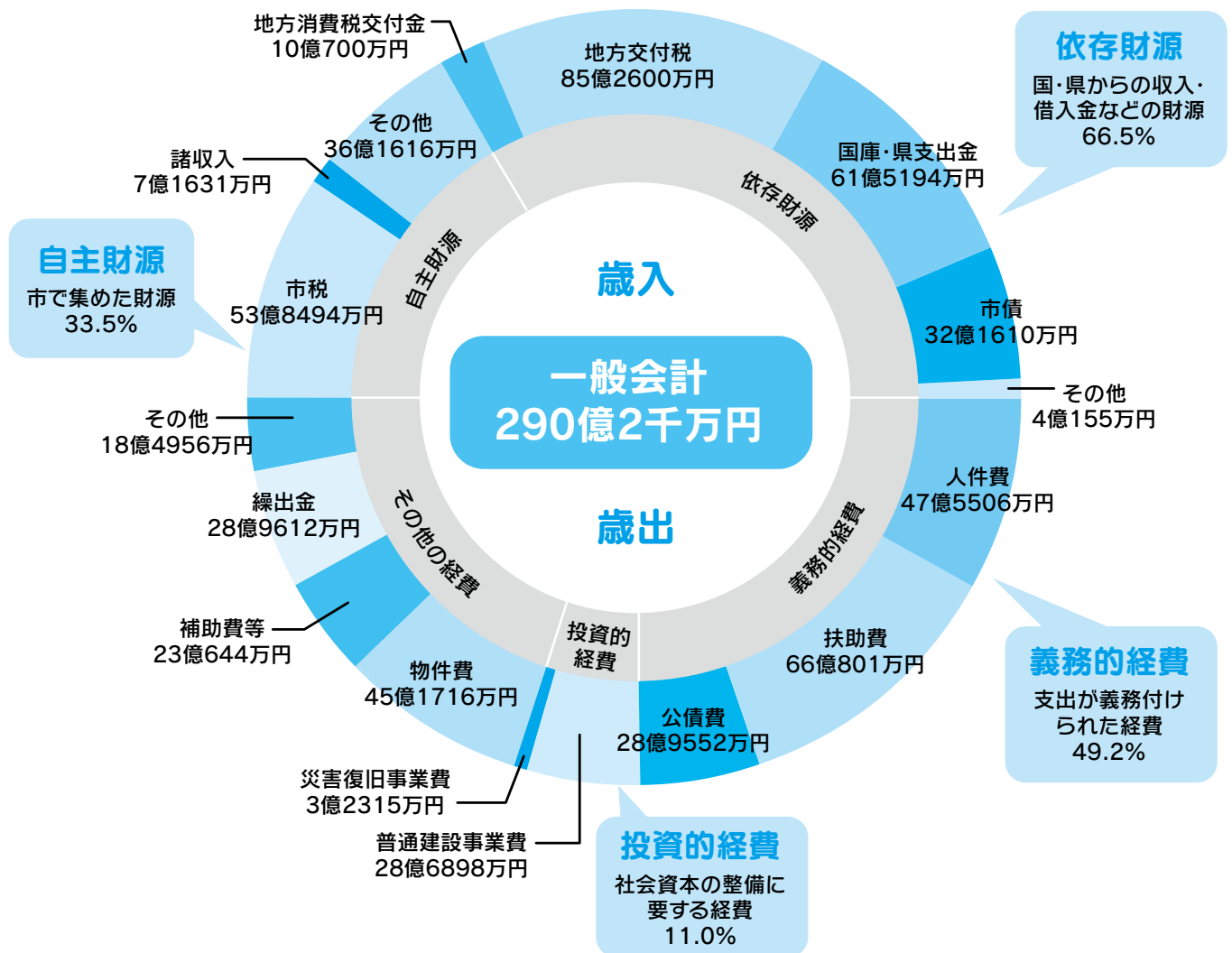
■令和3年度日南市一般会計補正予算(原案可決)

◇日本農業遺産日南かつお一本釣り漁業保全事業
〔400万円〕

日南かつお一本釣り漁業が、日本農業遺産に認定されたことに伴い、かつお一本釣り漁業の市内外へのPRや保全・継承活動を行う、「日本農業遺産日南かつお一本釣り漁業保全推進協議会」に対する支援及び、かつお料理の普及活動を行う「日南一本釣りかつお料理推進協議会」に対する支援を行うものです。

第3回定例会開催

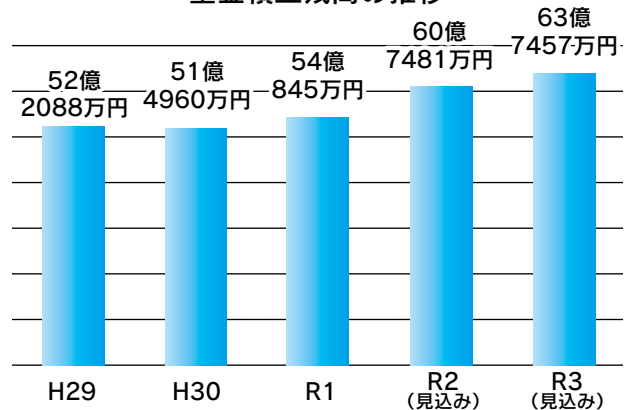
令和3年度一般会計予算、官製談合事件の ～市長選挙を控え、恒常的、



用語解説

- 地方交付税**: 地方公共団体の財政の偏りを調整する目的で、国が交付するお金。
- 市債**: 大規模な事業を行うときなど、国や金融機関などから借り入れるお金。
- 公債費**: 市が、国や金融機関などから借りたお金を返す経費。
- 普通建設事業費**: 通路や学校などの公共公用施設の新・増築などの建設にかかる経費。
- 物件費**: 旅費や消耗品費、委託料など。
- 繰出金**: 一般会計と特別会計、または、特別会計の相互間において支出される経費。

基金積立残高の推移



官製談合事件を受け、 2件の議員提出議案を可決しました!!

崎田恭平日南市長に対する問責決議

本市発注の工事入札をめぐり、本年1月19日に、当時の本市副市長であった田中利郎氏が官製談合防止法違反及び公契約関係競売入札妨害の疑いで逮捕されて以降、これまでに3回の逮捕、そのうち2件について起訴されたことは、市民を大きく失望させるとともに、市政に対する信頼を著しく失墜させた。

崎田市長は、副市長の任命権者として、本来であれば副市長の逮捕後、速やかに副市長に進退の意向を確認し、本市行政への信頼回復と行政運営に支障を与えない措置を講じる責任を有していたにも関わらず、本年3月4日の3回目の逮捕を受けて翌5日に開かれた全員協議会においても「接見禁止のため本人の意思確認ができていない」と答弁するなど、副市長の逮捕という前代未聞の事態であるにも関わらず、その処遇について速やかに対応しない姿勢からは、積極的に市民の信頼回復や行政運営の立て直しを果たそうとする気概を感じることはできず、崎田市長の対応に市民からも批判の声が上がっている。

また、崎田市長は、事件の全容が明らかになっていないことを理由に、自身の任命責任を判断できないとしているが、そもそも、副市長の職責にあるものが、罪を疑われるに足る行動をしたことそのものが、もはや副市長の資質に欠けていると言わざるを得ないのであって、副市長が逮捕されたという事実のみをもってしても、任命権者である市長にその責任が及ぶことは当然のことであり、田中前副市長の退職を承認することをもって、その責任を果たしているとは到底言い難い。

崎田市長は昨年10月に、本年4月25日の任期満了をもって市長職を退く意向を示していることから、今回の事件や副市長の任命に関し、その責任を果たすのであれば、本日をもって閉会する本定例会において、市長給与の減額等、自らの処分が示されるべきところであるが、本日までにその意思を示されることはなく、また、田中前副市長の判決確定は市長の任期満了後であることが明らかであるにも関わらず、自らの責任は当該判決の確定後に示そうとする姿勢は、市長の責任を放棄したと断じざるを得ない。

よって日南市議会は、崎田恭平市長に、田中利郎前副市長の任命権者として、また、今回の事件発生における市政の責任者としての責任を問うものである。

以上、決議する。

※決議文は令和3年3月18日当時のものです。

官製談合事件で逮捕、起訴された田中前副市長への任命責任を問う、「**副市長に對する問責決議**」が3人の議員により令和3年3月18日に提案され、反対討論、賛成討論がそれぞれありました。

◆反対討論（要旨）

◇今回の事件に関しては大変遺憾であり、二度とこのような事案が起きないように、真相解明と制度改革が必要であることは当然である。しかし、他県の同様の事例を見ると、裁判が終了した後には検証委員会等をスタートさせている中で、本市においては、すぐに外部の第三者による委員会を設置したことは一定の評価ができる。

また、推定無罪の原則がある中では、人権上の観点からも現在の市長の説明はやむを得ないと考える。

◇田中副市長を4年前の議会にて提案を行ったのは副市長本人だが、その人事に同意したのは私たち日南市議会ではないか。今回の事件の結果によって、副市長に対して任命責任が問われるのであれば、同様に市議会

についても同意をした責任が問われなければならない。

市政の両輪である私たち自身にどのような責任があったのかを理解・整理を行ってからでない、信頼を得ることができない。行うべきは、責任追及でも当局を問い詰めるでもなく、二度と同じことを繰り返さない方法を共に考えることである。

◇問責決議には、「市長の責任を放棄したと断じざるを得ない」とあるが、副市長は再発防止に取り組んでいる。よって、「市長の責任を放棄した」とする問責決議には賛成できない。

◆賛成討論（要旨）

◇副市長の逮捕に当たって、任命責任について市長自らの責任の自覚が私ども議会には伝わってこない。その対応は、市民にも疑念を招いている。

市長の職責、議会に対するしっかりとした責任、任命責任の自覚の欠如について厳しく問いたださざるを得ない。

以上4人の議員による討論があり、採決の結果、可否同数となり、議長裁決で可決しました。

「**官製談合事件の検証と再発防止を求める決議**」が議会運営委員会により、令和3年2月24日

に提案され、全員賛成で可決しました。

官製談合事件の検証と再発防止を求める決議

本市発注の工事入札をめぐり、副市長が官製談合防止法違反及び公契約関係競売入札妨害の疑いで逮捕・起訴されたことは、市民に大きな衝撃を与え、市政に対する信頼を著しく失墜させた。

このような事態に至ったことは、二元代表制の一翼を担い、市政を監視すべき議会としても、その責任の重さを痛感しているところである。

市においては、現在、専門的知見を有する第三者を含んだ委員会を設置し、入札・契約制度の検証が進められているところであるが、この度の事件を深刻に受け止め、事件の背景を徹底的に検証し、規則等の改正を含めた再発防止策を取りまとめ、市民及び議会に対しての説明責任を果たされることを強く要望する。

日南市議会は、ここにあらためて、議会の役割と責任を深く認識し、市と議会で議論を重ねて、信頼回復に全力を挙げて取り組むことをここに決議する。

総務市民委員会の審査概要

■日南市一般会計予算

◇創客創人センター運営管理費

【2821万6千円】

うち市債【840万円】

創客創人センター（市民活動支援センター）の委託料及び維持管理に要する経費です。

【審査の概要】

問 利用者は増えているのか。

答 通常は16000～17000人ほどいるが、コロナの影響で14000～15000人ほどに減っている。

問 そこを利用して研修し、起業した人はいるか。

答 数の把握はしていないが、何人かいる。

◇特定空き家等対策事業

【36万7千円】

空き家等対策事業の推進並びに、審議会運営に要する経費です。

【審査の概要】

問 県外在住の空き家の持ち主と直接会って話し合うための出張費も事業予算に含まれているのか。

答 空き家が日南市内にあるので、空き家のある現地に来てもらって話し合うようにしており、出

張費は含まれていない。



消防本部に配備されたドローン

◇職員研修事業【消防本部警防課】

【486万8千円】

消防職員に対する研修経費です。

【審査の概要】

問 ドローンのオペレーター講習とあるが、ドローンの性能等を問う。

答 機能がかなり優れており、九州で本市が一番に導入し、風速15mでも、雨が降っていても飛ばせる。カメラは200倍のズーム機能を搭載しており、一台で赤外線カメラにも対応できる。

◇コミュニティバス運行事業

【5327万1千円】

うち市債【590万円】

市内6路線においてコミュニティバスを運行し、高齢者の通院や児童生徒の通学等の交通手段を確保するための事業です。

【審査の概要】

問 市内循環バスの検討はしているのか。

答 運転手の確保等の問題もあり、現状では厳しい状況にある。コロナで公共交通が打撃を受けている現状を鑑み、鉄道や路線バス等の総合交通網を含め、大きな見直しを検討すべき時期であると考え。

◇（仮称）道の駅北郷整備事業

【2億9191万8千円】

建物及び外構の実施設計や農村環境改善センター等の解体工事等を行い、（仮称）道の駅北郷を整備するための事業です。

◇ふるさと応援寄附金事業

【20億1万6千円】

ふるさと応援寄附金に係る経費です。

【審査の概要】

問 ふるさと応援寄附をされる方のおおよその人数と納付額を問う。

答 人数（件数）は約11万1000件で、金額の平均は16000～20000円が多い。

◇市長選挙費

【2314万5千円】

市長選挙の執行に係る経費です。

■日南駅舎コミュニティスペース条例について

日南駅舎の有効活用により、公共交通利用者の利便性の向上を図るとともに地域交流の拠点とするため、日南駅舎コミュニティスペースの設置及び管理について条例の制定を行うものです。



委員会審査のようす

文教厚生委員会の審査概要

■日南市一般会計予算

◇こども医療費助成事業

【1億2549万4千円】

中学生までのこどもに係る医療費助成に要する経費です。

乳児は保険診療分の一部負担額を全額助成し、幼児は1レセプトにつき月350円差引き後の額を助成します。

小学生から中学生は、1レセプトにつき月1000円差引き後の額を助成します。

◇こども見守り・宅食等支援事業

【566万円】

経済的な事情を抱える世帯等へ食料や食事の提供を通じて子どもの見守り体制を強化する取組を支援するための経費です。

【審査の概要】

問 新規の事業だが、どのような取組を行うのか。

答 日南市社会福祉協議会が事業主体となり、申込みのあった家庭に毎月第3木曜日に1人当たり10食分の食料等を届けるとともに見守り支援を行うもの。

◇病院事業会計繰出金

【3億17万4千円】

市立中部病院に求められる機能・役割を発揮するため、救急医療や回復期リハビリテーション医療などの政策医療、不採算医療に対する繰出金です。



委員会審査のようす

◇医療介護連携推進事業

【79万2千円】

医療・介護連携情報共有システム（Net4U）の運用に要する経費です。

【審査の概要】

問 登録患者数及び事業所数は。

答 登録患者数459人で、31事業所である。

◇PCR検体採取センター運営事業

【875万9千円】

PCR検体採取センターの運営に要する経費です。

【審査の概要】

問 取組の概要は。

答 開所日時は、月、水、金（祝日、年末年始の休日を除く）の週3回。場所については非公表。

受付方法は、完全予約制。（1日最大5件まで）

採取方法は原則唾液採取でドライブスルー方式を採用。

◇生活保護扶助費

【7億3491万6千円】

生活保護者に対する扶助費です。

◇生活保護就労支援事業

【209万6千円】

稼働能力のある被保護者に対し就労支援を行い、生活保護からの自立助長を目的とする事業です。

◇生活困窮者自立支援事業

【1735万5千円】

生活困窮者が、困窮状態からの早期脱却を目指すことを支援するための事業です。

◇障がい者自立支援給付金

【13億8937万円】

障がい者及び障がい児が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要な

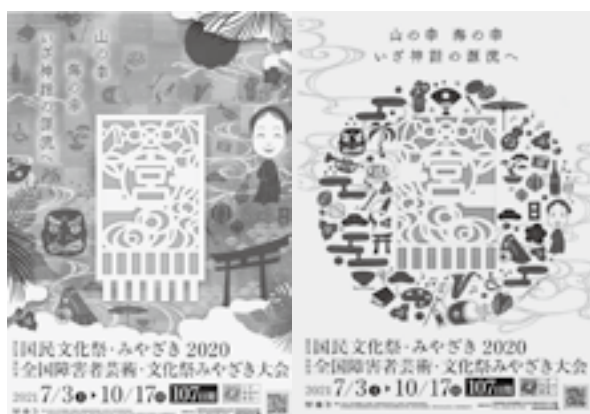
介護給付・訓練等給付費、補装具費、自立支援医療費等の経費です。

◇国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭みやざき大会事業

【400万円】

第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会開催に係る日南市実行委員会に対する費用負担です。

事業内容は、日南みんなの作品展、茶の湯フェスティバル「ひなた」の茶 県南地区茶会、連句の祭典、日南たいげん！舞台公演、DENKEN2021です。



みやざき国文祭・芸文祭パンフレット

産業建設委員会の審査概要

日南市一般会計予算

◇新型コロナウイルス感染症対策事業（緊急雇用）

【1266万8千円】

新型コロナウイルス感染症の影響により、離職や休業に追い込まれ収入が減少した市民を対象に、会計年度任用職員として緊急的に雇用する事業です。

◇日本農業遺産日南かつお一本釣り漁業保全事業

【400万円】

※事業の概要については、2ページをご覧ください。



農業遺産認定祝賀会

◇水産資源活用ビジネス創出事業

【440万6千円】

地域おこし協力隊制度を活用し、外浦漁協が取り組んでいる海面養殖や加工事業の発展や地域の活性化の取組を推進する事業です。

◇企業誘致促進事業

【5107万4千円】

コロナの影響により廃業等となり、使用しなくなった市内の工場等を取得し、借り受けた事業者が新たに指定工場等の指定をうけた場合、工場等を取得した事業者が課税される固定資産税相当額を、指定工場等支援助金として1回限り交付するものです。

◇体育施設管理費

【1億8614万7千円】

体育施設の修繕料、指定管理料等の施設管理に係る経費です。その中でも今回、南郷運動公園テニスコートの一部にトレーニングルームを建設する経費5300万円が計上されています。

【審査の概要】

問 テニスコートの利用者に不便ではないのか。

答 3面同時に利用されることは

ほばないと聞いていたので影響はないと考えている。

◇単独道路改良事業（大平線）

【5300万円】

徳之峯地区と大平地区を結ぶ道路で、現況幅員は狭小で車両の離合や緊急車両の通行も困難であることから、バイパス道路の整備を行うものです。

◇道路整備事業（社会資本・春日平野線）

【1億270万円】

東九州自動車道（仮称）油津ICと国道220号を結ぶ春日平野線の整備を行うものです。

■日南市水道事業会計予算

◇簡易水道特別会計事業（施設建設改良費）

【7400万円】

平成24年から調査を行ってきた大島の水源について、平成30年度に見つかり昨年設計を行ったものを本年度工事に着手するものです。

■日南市観光施設条例の一部を改正する条例について

観光施設の環境整備等を行うたことに伴い、使用料等につい

て所要の改正を行うものです。

施設	区分	単位	使用料
日南市栄松ビーチ	テント持ち込み（ウッドデッキ・電気コンセント付）	1区画1日につき	1,800円
日南市栄松ビーチ	オートキャンプ場	1区画1日につき	3,800円
日南市いこの広場	電源ボックス	1ボックス1日につき	500円



委員会審査のようす

特別委員会中間報告（抜粋）

令和2年度における、各特別委員会活動の中間報告を行いました。

議会改革推進特別委員会

本特別委員会は、本市議会の活性化を図るとともに、市民の信託に応える開かれた議会形成に向け、議会改革を推進することを目的として設置されたものであります。

令和2年度につきましては、主に委員会におけるオンライン会議の活用や、議会基本条例の見直しなどについて協議してまいりました。

まず、委員会におけるオンライン会議の活用についてであります。

全国的な新型コロナウイルス感染症のまん延を受け、地方議会において「3密」を回避したオンラインによる委員会の開催について検討する動きが始まっている中、本市議会においては、既にタブレット端末を整備して

おり、新型コロナウイルス感染症対策に限らず、風水害等の有事の際に活用できる可能性を有していることから、委員会におけるオンライン会議開催に関する課題や運用について、調査研究を行うこととしたところであります。

調査研究にあたっては、まず、全国の先進自治体における活用状況について調査を行うとともに、議事の公開の要請への配慮や運用に関する課題について協議を行いました。

また、本特別委員会において、実際にタブレット端末を活用した模擬委員会を体験し、体験後は、「タブレットの有効活用に繋がる」、「まずは会派内でも利用してみたい」など、活用に対し積極的な意見が出されたところでもありました。

現在、運用にあたって考えられる様々な課題について、整理を進めているところであり、今後とも引き続き、活用に向けた調査研究を継続してまいります。

次に、議会基本条例の見直しについてであります。

日南市議会基本条例は、日南

市議会及び議員に係る基本事項を定め、市民の豊かな生活空間の創出に寄与することを目的に、平成25年に制定されたものであります。

制定から7年が経過している本条例について、現状に即したものととなっているか、また、先進議会の改正状況などの点について調査研究を行い、見直しの検討を重ねてきたところであります。

その結果、大規模災害等の非常時において、議会の機能維持を図るために必要となる組織体制や議員の行動基準などを定めた日南市議会災害時業務継続計画が平成31年2月に策定されたことに伴い、本条例内においても災害時等の議会対応に関する条文の追加が必要であるとの結論に至ったところであります。

今後も引き続き、市民の信頼に応える責任ある活動に向け、議会基本条例及び政治倫理条例の見直しを進めてまいります。

そのほか、広く市民の意見を聴取することや、議員の活動や役割についての情報発信による主権者教育の観点から、高校生

との意見交換会についても議論を深めてまいりました。

若い世代の意見を聞き、今後のまちづくりを活かすことや、選挙や政治への関心を高めてもらうことは、全国的に議員のなり手不足が叫ばれる昨今、人口減少が進む本市においても重要な課題であると考えております。

まずは、その取り掛かりとして、市民の声を広く聴取するとともに、議会の活動内容について、広く情報発信を行う役割を担う広報広聴委員会において、実施の必要性の検討も含め、今後、調査研究を行うことに決定したところであります。

本特別委員会の活動は、全議員の参画なしにはなり得ません。今後も議会改革の手を緩めることなく、市民に開かれた市民に身近な議会を目指し、各種改革へ向け、鋭意、取り組んでまいります。

総合交通・産業活性化対策 特別委員会

本特別委員会は、東九州自動車道、国道220号などの主要道路網や油津港をはじめとする

総合交通網の整備促進、また、これらのインフラを活かした産業振興・雇用創出に関する諸問題に対処することを目的として設置されたものであります。

本年度は、コロナ禍において、感染拡大防止のために活動を制限せざるを得ませんでした。本委員会の設置目的である、本市における総合交通網の整備について、国県等の関係機関に対する要望活動や、関係機関との意見交換を行いました。

要望活動は、『東九州自動車道の早期整備』『「命の道」国道220号防災対策の早期整備及び同国道の直轄管理の継続』『重要港湾油津港の整備』の3項目について、県をはじめ、宮崎河川国道事務所、宮崎港湾・空港整備事務所、九州地方整備局、国土交通省、県選出国会議員に對して、本市における各インフラ整備の必要性や事業効果を訴え、早期完成や整備促進等をお願いするものであります。

11月には、リスク軽減のため委員長代理と議長による要望活動を実施し、各インフラ整備について、事業の継続や事業を推

進するための予算確保等についての確認をしました。

また、8月に日南土木事務所及び油津港湾事務所と、県が実施する公共事業についての意見交換会を実施し、県事業と円滑な連携が図られるよう、多岐にわたる意見交換を行ったところです。

各交通網における整備等の現在までの動きについては、まず、東九州自動車道においては、「清武南～日南北郷間」では、令和4年度までに開通する見通しであると発表され、東九州自動車道の全線開通に向けた事業の取組が、今後加速されていくものと考えております。

さらに「日南東郷IC」については、フルICとして整備される計画に変更され、工業団地から多方面へのアクセスや災害時の救命活動や物資輸送等の支援も可能となり、ネットワークの多重性の確保が期待されることとあります。

次に、国道220号においては、日南防災（北区間）では、「伊比井～富士間」を結ぶ全長724メートルの「伊比井潮風トン

ネル」が令和2年4月に開通し、また、日南防災（南区間）の「宮浦～鶴戸間」については令和2年4月に事業化され、住民の生活と医療を支える命の道が着実に整備されているところです。

次に、油津港においては、岸壁の耐震改良整備が進められていくところであり、緊急時において、一度に大量の物資が輸送できる海上物流は重要であり、防災機能を有した港湾施設は、速やかな災害復旧のほか、経済活性化などの観点から必要なたため早期完成が望まれています。

東九州自動車道「清武南～日南北郷間」が開通した後は、大幅な時間短縮に加え、貿易貨物等の増加や、クルーズ船寄港時のツアーバスなどによる観光客の広域的な移動が可能となるなど、産業・経済・観光発展のため油津港が果たす役割は、益々重要になるものと考えております。

また油津港は、昨年1月には、全国で初となる検疫港以外でのファーストポートとしての受入体制が整備されたことにより、

多くのクルーズ船の寄港が期待され、油津港を起点とした太平洋側クルーズの活性化に寄与できるものと考えております。

本特別委員会としましては、本市のインフラ整備はもとより、これらを活かし、基幹産業である農林水産業をはじめ、さまざまな産業振興対策が講じられるよう、今後も積極的に要望活動に取り組み、さらに、市当局や関係機関と連携し、本市の活性化、地域振興のために、今まで以上に努力してまいいることを申し上げまして、本特別委員会の中間報告といたします。



県選出国会議員への要望活動

市政を 問う！ 一般質問

令和3年第3回定例会における「市政に対する一般質問」は、3月9日、10日、11日の3日間で行われ、10人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をたしました。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

- ※ 議員の一般質問のようすは、動画で視聴できます。議員顔写真下のQRコードをスマートフォン等で読取って、日南市議会インターネット議会中継にアクセスしてください。
 - ※ 質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会事務局にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。
- また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。
詳しくは、日南市議会事務局（電話:0987-31-1142）までお尋ねください。

〈登壇者と質問項目〉

① 松岡 祐樹 議員	〔市長の政治姿勢について、健康福祉行政について、第一次産業について、学校教育について〕
② 富士 洋一 議員	〔防災対策について、学校教育について、高齢者の運転免許証自主返納について〕
③ 郡司 誠秀 議員	〔新型コロナウイルス感染症対策について、学校教育について、防災対策について、農業振興について、市民に分かりやすい施策周知の手法について〕
④ 鈴村 和枝 議員	〔新型コロナウイルス感染症について、成人予防接種ワクチン事業について、子どもの予防接種について、乳幼児健診について、高齢者介護について、安全対策について〕
⑤ 岩永 憲明 議員	〔市長の政治姿勢について、新庁舎建設工事について、教育行政について、市民からの要望について〕
⑥ 北川浩一郎 議員	〔市長の政治姿勢について、温泉施設について、新型コロナウイルス感染症対策について〕
⑦ 井福 秀子 議員	〔大型施設建設事業について、建設事業の進め方・あり方について、福祉の問題について〕
⑧ 和足 恭輔 議員	〔空き家対策について、老朽化した橋梁対策について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について、安心して暮らせる高齢者単身世帯への対策について、寄附金について、サンチェリー北郷の今後について〕
⑨ 柿原 聡子 議員	〔新型コロナウイルス感染症対策について、教育関係について、温泉施設について、北郷の岩壁について〕
⑩ 黒部 俊泰 議員	〔官製談合について、新型コロナウイルス感染症対策について、パワハラ防止について、自殺防止について、生活支援について、SDGsについて、防災対策について〕

現状を見つめ直し もっと前に政策を



自由民主党
日南市議団
松岡 祐樹

市長の政治姿勢について

問 官製談合問題について、権限の集中やチェック機能の低下によるシステムそのものの問題と、運営上の形骸化が問題と思うが見解を問う。

答 入札制度等検証委員会で、組織がバナンスは働いているのかなどの検討課題が上がり、運用の整備としては等級区分の見直しなどについて議論されている。

検証委員会の意見を踏まえた上で、早期に入札制度の見直しを行い、入札制度全体の整備をし、ガバナンスの効いたコンプライアンス体制を確立していく。

日南市健康ポイント事業について

問 健康受診だけではなく、ウォーキングなど気軽に楽しみながら健康増進が図れるような取組はできないか問う。

答 事業期間が来年度で5年目を迎える、検証したいと考えており、議員提案の熊本市の事例も参考に研究していく。

日南カツオ一本釣り漁業について

問 日本農業遺産に認定されたが、今後どのような取組を行なっていく

のか問う。

答 基幹産業として、しっかりと保全、継承していき、市内4漁業や関係機関と連携し、国、県の制度事業等も活用しながら必要な対策を講じていく。

学校教育について

問 病気等で長期欠席をしている生徒が、録画した授業を自宅で受けられる取組ができないか問う。

答 状況に応じた多様な教育機会を確保することが必要となり、自宅での授業動画視聴も有効な支援の一つだと考えている。



日本農業遺産
かつお一本釣り漁業

運転免許証返納しても 困らない日南市へ



自由民主党
日南市議団
富士 洋一

防災対策について

問 地域の自治公民館等を避難所としないのか問う。

答 指定避難所に避難できない場合において、自治会長などが、独自に安全性等を確認したうえで、公民館等を避難所として開設することができ。

問 新型コロナウイルス対策として、テントや段ボールベッド等は、どのくらいあるのか問う。

答 飛沫感染防止用のテントは現在一人用が750張、二人用が375張の計1500人分配備。段ボールベッドは20台あり、新たに700台今月末に配備する予定。

学校教育について

問 コロナ禍における小中学校のトイレ改修後は、湿式清掃から乾式清掃へ転換しているか問う。

答 平成26年度以降、乾式清掃を進めている。

問 清掃消毒を専門業者をお願いすることはできないか問う。

答 感染状況や国県の動向を注視して必要と判断される場合は、専門業者へ委託も検討する。

高齢者の運転免許証返納について

問 返納者は交通手段がなくなるが、今後の市の対策を問う。

答 今後は、例えばNPO法人や地域が運行主体となることで、地域住民の移動手段が確保できるような方法も研究したいと考えている。

問 コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの運行範囲を広げる考えはないか問う。

答 運転手不足、経営状況も悪化しているため、バスやタクシーの運行範囲の拡大を含め、本市の交通全体の在り方について、研究を進めたいと考えている。



市役所のコミュニティバス停

誰一人取り残さない

デジタル社会に



自由民主党
日南市議団
郡司 誠秀

今後の働き方の新様式について

問 テレワークの取組状況を問う。

答 市職員の自宅等で業務をする実証実験を延べ40人で行った。今後の働き方改革に向け検証していく。

問 脱ハンコの取組状況を問う。

答 4月から、市の裁量で可能な約1400の手続きの脱ハンコに取り組み、将来のオンライン申請を見据えていく。

デジタル教育について

問 GIGAスクールの準備状況を問う。

答 学校のWi-Fi環境やタブレット利用の操作研修など順調である。

問 キャッシュレス決済の消費者教育はしているか。

答 中学の社会科学や技術・家庭科で取り組み、急速に進むキャッシュレス決済への対応をしている。

防災対策について

問 防災士育成のための補助はしないか。

答 防災士は、減災・防災力向上のために活躍が期待される。9市の状況を見ながら検討していく。



パソコン教室のようす

農産物の海外販売について

問 海外販売に、しっかり取り組む考えはないか。

答 相談があれば、国の補助や専門家の紹介、情報提供の支援を行っている。

施策の周知について

問 高齢者にスマホやタブレットの活用推進を図れないか。

答 NTTドコモと、共同検討に関する覚書を締結しており、来年度から、高齢者を対象とする「スマートフォン入門講座」の計画をしている。

わかりやすい ワクチン接種体制の整備を



自由民主党
日南市議団
鈴木 和枝

新型コロナウイルスワクチンについて

問 ワクチン接種を希望する市民が接種しやすい体制は考えられているか。

答 4月下旬に郵送する接種券と一緒に、接種できる市内医療機関一覧も同封できるよう準備を進めている。

問 個別接種を行う医療機関の理解は得られているか。

答 南那珂医師会と実施体制等の協議を進めている。南那珂医師会が行った調査結果では7割以上の医療機関が個別接種実施の意向を示しているという。

带状疱疹ワクチンについて

問 任意接種であり高額な自己負担となる带状疱疹ワクチンへ市としての助成はできないか。

答 県内の状況も勘案しながら調査・研究していきたい。

問 ワクチン接種の効果を市民に周知・広報できないか。

答 市内に带状疱疹研究の著名な医師がおられるので、今後意見を伺いながら検討していく。

風しんの追加的対策について

問 令和3年度末で終了するが、風しんの抗体保有率向上に向けた取組について問う。

答 抗体検査を受けた方は全体の2割以下。未受診者向けに受診推奨の案内を送付予定。

道路や水路の安全対策について

問 市民からの声や要望に市は真摯に対応できているか。

答 まず市の管理施設が否かを確認し、所管施設の場合は現場確認後、要望内容を整理し要望者へ回答している。予算が伴う案件は明確な回答ができない箇所もある。

たい じょう ぼう しん
50歳を過ぎたら 带状疱疹の
予防接種ができます。

日本人成人の90%以上は、
带状疱疹の原因となるウイルスが
体内に潜んでいて¹⁾、
80歳までに約3人に1人が
带状疱疹になるといわれています²⁾。

市民の信頼を

回復するために



民主クラブ
岩永 憲明

官製談合問題について

問 事件発生の原因はどこにあると思うか。

答 捜査中であり私自身もわかりかねる。

問 副市長の長期不在による業務への影響はないのか。

答 多少の負担にはなっているが支障が出るまでには至っていない。

問 副市長の弁護士費用は公費で対応することになるのか。

答 訴訟の対象が、個人であるので市が負担することはない。

問 指名停止期間の基準はあるのか。2年は長過ぎるのではないか。

答 「指名停止等の措置に関する要綱」がある。この要綱によって、1回目の逮捕時に4月、2回目の逮捕時に24月となった。

問 最低制限価格の引き上げが再発防止につながると思うがどうか。

答 本市の設定率は85～90パーセントとなっている。引き上げについては、他の自治体の状況、入札制度等検証委員会の意見を聞き検証していく。

新庁舎建設工事について

問 躯体工事は「免震構造」で決定されたのか。

答 防災拠点施設として、総合的に判断した結果「免震構造」を採用し、国交大臣認定の性能評価も既に終えている。

問 電気・空調・給排水等市内業者で施工は可能と思うがどうか。

答 内装、外構工事も含めて可能と考えている。

市民の要望から

問 総合運動公園の入口から陸上競技場の白線が消えて危ない。早期に対応できないか。

答 安全性を考慮し、補修を進める。



土砂災害には欠かせない
地元企業の移動式クレーン

温泉施設の

今後は!!



自民党
令和の会
北川 浩一郎

官製談合について

問 逮捕・起訴された事実を受け、副市長任命の責任として、市長の給与減額等の考えはあるのか問う。

答 現時点では、副市長は官製談合防止法違反などの疑いで逮捕・起訴されている段階である。罪があるのか裁判で確定していない。私の給与減額等については、今のところ決断していないが、今後の推移に応じて、さまざまな判断が出てくるものと考えている。

サンチェリー北郷について

問 平成31年2月付の通知文書を適切に処理していれば、令和元年4月からの指定管理者にも迷惑をかけなかったと考える。その処理について問う。

答 この定期報告催告の通知は、予算や時間を要する内容であった。報告できない旨を県に連絡し、作成でき次第提出することで了承を受けた。その当時、不適合箇所は判明しておらず、指定管理者による運営開始を優先させた。報告書の作成に速やかに取りかかれず時間を要したことは反省している。

問 施設休止に伴う指定管理者への対応を問う。

答 今回の休止に関して、指定管理者には全く落ち度はなく、補償を含め誠意をもって対応していく。

新型コロナウイルス対策について

問 4月から高齢者に対するワクチン接種が開始される予定である。集団接種会場に行けない交通弱者への対応を問う。

答 集団接種については、広さが確保できる公共施設3箇所程度を会場として選定したいと考える。会場まで行けない高齢者については、今後体制を構築する中の課題として事業を進めていく。



サンチェリー北郷の早期再開を!!

(仮称)道の駅北郷構想は

白紙撤回を



日本共産党
日南市議団
井福 秀子

サンチェリー北郷問題について

問 市は県へ提出すべき定期報告を把握していたのに放置していた。その原因は何か。

答 定期報告書は作成に時間を要する内容であったため、県には連絡し了承を得ていた。速やかに取りかかれず反省している。

問 再発防止策はあるのか。

答 文書の処理は上司のチェックを受け、決裁を経たうえで処理すること等を指導、徹底していく。

問 今までも不適切な文書処理はあったのか。

答 3件あった。

問 NPO法人、従業員の生活を守る十分な補償と支援が求められていると思う。補償はどれくらいを考えているか。

答 今回の施設休止は指定管理者に落ち度は全くない。指定管理者と協議を重ねて、誠実に対応する。

(仮称)道の駅北郷の整備について

問 新庁舎建設に概算44億円、サンチェリー北郷に数億円、道の駅北郷の事業費は5・7億円、8億円が見込まれている。合併特例債が終了し

市の財政は今後さらに厳しい運営を迫られる。白紙に戻すべきではないか。

答 今後とも運営予定者、地域、関係団体と連携しながら進めていく。

北河内曾和田線について

問 現曾和田線は杉の伐採により危険な箇所が多数ある。事故が起こる前に転落防止のガードレールを早急に設置すべきではないか。

答 路肩杭とロープを張った。今後再造林されると聞いており、これまで同様、優先度の高い道路から整備を進めていく。



曾和田線の現況

サンチェリー北郷

関係者に十分な補償を



日本共産党
日南市議団
和足 恭輔

空き家対策について

問 12月議会答弁で特定空き家の認定は20件であったが、その後の進行状況を問う。

答 特定空き家数は新たに8件を認定し、1件が解体撤去されたため27件となっている。

問 解決が困難となる所有者や相続人が不明の案件はあるのか。

答 そういった案件はない。

問 所有者との交渉は専任職員が1人で対応しているが、体制を補強できないか。

答 専任職員は業務経験も豊富で接遇・渉外活動にも優れ、事務の進行管理も良好であり、現行の1人体制の変更は考えていない。

緊急通報システムについて

問 高齢者世帯数の現状を問う。

答 平成27年国勢調査によれば、65歳以上の高齢単身世帯数は3743世帯、うち75歳以上は2298世帯である。

問 市が民間に委託している緊急通報システムの利用者数を問う。

答 住民税非課税で概ね65歳以上の単身世帯利用者は19人である。

問 この緊急通報システム見守り事業制度の対象外の高齢者単身世帯が民間の緊急システムサービスを利用する際、利用料の一部を補助する制度を検討してどうか。

答 緊急通報システム事業の拡大は考えていない。

サンチェリー北郷の休業について

問 施設の休止に伴う指定管理者への補償をどう考えているか。

答 施設休止については指定管理者側に全く落ち度はない。指定管理者と定期的な協議の場を設けるなど、誠実に対応し、指定管理者側の納得いく補償を行いたいと考えている。



休業閉鎖中のサンチェリー北郷

北郷温泉再開に向けて

迅速な対応を!!



無会派
柿原 聡子

サンチェリー北郷について

問 耐火要求や建築確認の不備を令和元年10月から認識していながら、今まで手付かずの状態であった理由を問う。

答 全体の改修計画が定まらないまま改修を行うと効率が悪くなるほか、不要な改修を行ってしまう可能性があったので、不適合箇所の確定作業を優先した。

問 仮に補修費用が想定以上の高額になった場合は、完全閉鎖も視野に入れているのか。

答 今まで閉鎖という言葉は使ったことがない。現状維持が困難な場合でも、形は変わるかもしれないが一番良い方法で継続したい。

北郷の岩盤について

問 蜂之巣公園入り口前の県道28号線沿いにある露出した岩盤に恐怖を感じるのだが、不安な心理を和らげる方法はないか。

答 落石防止のロックネットや岩を固定するワイヤーネットの工事を行い、安全上の影響はないとのこと。パトロールによる安全確認を行いながら、この旨を丁寧に説明すること

で市民の理解を得たい。

新型コロナウイルスについて

問 今までと全く違う製造方法のワクチンを接種することで起こりうる危険性を周知すべきと思うが、そのような考えはないか。

答 市の広報誌や案内文書に副反応に関する情報も提供する。

教育関係について

問 35人学級について、クラスの人数を減らすより、『教育の質』を高めないと教育現場における問題も解決しないと思うが、どうか。

答 教職員対象の研修を充実させ、教員の資質向上に力を入れている。



蜂之巣公園入口前の岩盤

改革の重要性を問う

入札制度等の改革について

問 副市長の官製談合容疑を踏まえた取組を問う。

答 日南市入札制度等検証委員会では、公共工事等に係る第3者機関の設置を想定している。今後は、物品・業務の入札についても考えなければならぬと認識している。

問 退職者の天下り対策はどうか。

答 まだ要項は決めていない。検証委員会でも議論されるものと考えている。

問 職員の不祥事を通報する内部告発者の保護について見解を問う。

答 通報窓口には弁護士等の追加を考えており、秘匿性を高めたい。

パワハラ対策について

問 市役所内でのパワハラに対する懲戒処分規定の取組はどうか。

答 昨年の国の改正を受け、同様の処分を科す改正を行う予定である。

問 相談窓口の取組はどうか。

答 市役所内でのパワハラに対する相談窓口は、弁護士等の追加を考えている。

小中学校のタブレット活用について



公明党
日南市議団
黒部 俊泰

問 1人1台の整備が進んだ。けがや病氣、いじめ等で登校していない児童生徒への自宅学習支援を、早期に始めるべきだがどうか。

防災対策について

問 昨年の台風10号による避難所開設において、市民から「二度テントを離れてから戻るときに、自分のテントがどれなのか分からなくなかった。目印があったら安心なのではないか。」とあった。避難所での小型テントの目印対策を問う。

答 名前や数字等、目印になるものを貼る等、工夫したい。



目印があると、わかりやすくて安心です

市民の声を各種政策に反映させるため、常任委員会において市民団体等との意見交換会を開催しました！

総務市民委員会

総務市民委員会は、令和2年12月1日に議場にて、自治会連合会と意見交換会を行いました。台風の際の避難所の問題、デジタル化による個別受信機の配布等について意見要望が出されました。

なお、今回出された意見、要望については、本年2月に議長名で出された提言書に盛り込み当局に伝えました。

主な意見・要望

○身近な避難所を設置してほしい。

令和2年9月の台風10号では、約1500人が避難所へ避難されたが、介護を要する高齢者や自家用車等の移動手段を持たない方が避難をあきらめざるをえなかった。自宅から近い自治公民館が避難所であれば避難できた。

○防災行政無線に関して

デジタル化に伴い長年生活の一部として存在した時報やサイレン等が廃止されることに北郷・南郷地区を中心に混乱が生じている。また個別受信機の配布についても、

自治会長の負担が大き

い。廃止される各

種サイレンや屋外拡

声子局の整備縮小、

戸別受信機の配布計

画等については自治

会に丁寧の説明し、

市民の意見が十分反映されるよう努めてほしい。



文教厚生委員会

文教厚生委員会は、令和2年8月25日に議場にて、日南市自立支援協議会こども部会の方々と意見交換を行いました。

主な意見・要望

意見としては、関係機関同士の連携が重要で、役所の異動や子どもの成長に伴い本人も担当もゼロからの説明が必要など保護者への負担が大きいことや、発達段階において支援が必要な児童を持つ母親が事業所のことを知らずに適切な支援が行えないなどがありました。

支援が必要な子供にできるだけ早い段階で適切な支援や関わりを行うことで、その子の将来の選択肢も広がります。

意見交換後に、市と参加いただいた事業所間での話し合いが行われ、子どもの育ちを共有するファイルの作成についてや、悩みや子育てについてを相談できる場が協議されています。

委員会として

は、いただいたご意見をしっかりと市政へ反映しながら、今後も「子どもの健全育成」の充実に向け引き続き取り組んでまいります。



産業建設委員会

産業建設委員会は、令和2年8月24日に議場にて、日南土木事務所及び油津港湾事務所と県が実施する公共事業について意見交換会を実施し、大規模災害に対する防災・減災対策の取組等、多岐にわたる意見交換を行いました。

主な意見交換の内容

問 日南ダムの貯砂の管理状況について、水の変色や砂も蓄積しているように見えるが管理はされているのかを伺う。

答 砂は毎年測量し堆積状況を確認している。日南ダムに限らず、予算が確保できれば掘削したい。

＜令和2年度事業内容について＞

問 鵜戸参宮線（災害）工事の進捗状況を伺う。

答 駐車場部分を市道に編入し国交省の道路災害として事業化する。しかし特殊な地滑りのため、調査しながら進めている。

問 国土強靱化事業では、事業終了後の予算についてはどうお考えか。

答 豪雨等の災害対策で国の治水関係予算が現在1兆円から6千億円となったが、日南管内としては東九州道と治水対策を重点的に獲得していく。



審議結果一覧

※ 令和3年第1回臨時会の審議結果を掲載しております。

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委員会	本会議
報 告 第 1 号	専決処分の承認を求めることについて	－	原案承認
報 告 第 2 号	専決処分の承認を求めることについて	－	原案承認
議 案 第 1 号	令和2年度日南市一般会計補正予算（第19号）	原案可決	原案可決
議 案 第 2 号	令和2年度日南市病院事業会計補正予算（第4号）	原案可決	原案可決
議 案 第 3 号	令和2年度日南市一般会計補正予算（第20号）	原案可決	原案可決

※ 令和3年第2回臨時会の審議結果を掲載しております。

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委員会	本会議
議 案 第 4 号	令和2年度日南市一般会計補正予算（第21号）	原案可決	原案可決

※令和3年第3回定例会の審議結果を掲載しております。

【令和2年度関係議案】

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委員会	本会議
議 案 第 5 号	令和2年度日南市一般会計補正予算（第22号）	原案可決	原案可決
議 案 第 6 号	令和2年度日南市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	原案可決
議 案 第 7 号	令和2年度日南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	原案可決
議 案 第 8 号	令和2年度日南市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	原案可決
議 案 第 9 号	令和2年度日南市病院事業会計補正予算（第5号）	原案可決	原案可決
議案第10号	令和2年度日南市簡易水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第11号	令和2年度日南市公設合併処理浄化槽特別会計補正予算（第3号）	原案可決	原案可決
議案第12号	令和2年度日南市公共下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決	原案可決
議案第13号	令和2年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	原案可決
議案第14号	令和2年度日南市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決	原案可決
議案第15号	日南市行政組織条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第16号	日南市公平委員会の委員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第17号	日南市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第18号	「松原団地第9アパート住戸改修建築主体工事の請負契約の締結について」の議決事項の一部変更について	原案可決	原案可決
議案第19号	「財産の取得について」の議決事項の一部変更について	原案可決	原案可決
議案第20号	日南市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第21号	財産の取得について	原案可決	原案可決
議案第22号	日南市集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第40号	令和2年度日南市一般会計補正予算（第23号）	原案可決	原案可決
議案第42号	令和2年度日南市一般会計補正予算（第24号）	原案可決	原案可決
陳 情 第 3 号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書	趣旨採択	趣旨採択

【令和3年度関係議案】

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委員会	本会議
議案第23号	令和3年度日南市一般会計予算	原案可決	原案可決
議案第24号	令和3年度日南市国民健康保険特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第25号	令和3年度日南市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第26号	令和3年度日南市介護保険特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第27号	令和3年度日南市病院事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第28号	令和3年度日南市簡易水道特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第29号	令和3年度日南市漁業集落排水特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第30号	令和3年度日南市公設合併処理浄化槽特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第31号	令和3年度日南市公共下水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第32号	令和3年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第33号	令和3年度日南市水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第34号	日南駅舎コミュニティスペース条例	原案可決	原案可決
議案第35号	日南市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第36号	日南市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第37号	日南市指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第38号	日南市観光施設条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第39号	日南市公設合併処理浄化槽条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第41号	日南市監査委員の選任について	—	原案同意
議案第43号	令和3年度日南市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議員提出議案第9号	官製談合事件の検証と再発防止を求める決議	—	原案可決
議員提出議案第10号	日南市議会基本条例の一部を改正する条例	—	原案可決
議員提出議案第11号	日南市議会会議規則の一部を改正する規則	—	原案可決
議員提出議案第12号	日南市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	—	原案可決
議員提出議案第13号	崎田恭平日南市長に対する問責決議	—	原案可決

採決結果一覧

賛否の分かれた議案等における、議員ごとの賛否結果は以下のとおりです。
なお、表中の記号は次のとおりです。（○＝賛成 ×＝反対 欠＝欠席 議＝議長）

議案番号	議案名	委員会 審査 結果	平 剛 典	鈴 村 和 枝	松 岡 祐 樹	柿 原 聡 子	富 土 洋 一	杉 尾 麻 起 子	北 川 浩 一 郎	郡 司 誠 秀	谷 口 慎 二	黒 部 俊 泰	山 田 一 也	川 口 和 也	前 田 幸 雄	岩 永 憲 明	濱 中 武 紀	和 足 恭 輔	安 竹 博	中 尾 貞 美	井 福 秀 子	採決 結果
陳情 第3号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書	原案 可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	×	原案 可決
議案 第21号	財産の取得につて	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	×	原案 可決
議案 第23号	令和3年度日南市一般会計 予算	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	議	×	○	○	×	原案 可決
議員提出 議案第13号	崎田恭平日南市長に対する 問責決議	原案 可決	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	原案 可決

注1）議長は採決には加わりませんが、議員提出議案第13号については可否同数のため議長裁決により可決しました。
注2）議案の賛否は原案についての表決です。

議会日誌

(2月から4月 抜粋)

2月

- 8日 議会運営委員会、議会改革推進特別委員会
全員協議会(議案説明会)
- 9日 宮崎県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 10日 第2回臨時会、全員協議会
- 17日 議会運営委員会、会派代表者会議
全員協議会(議案説明会・議会案件)
- 18日 市への提言書提出
- 22日 議会運営委員会
- 24日 本会議(開会、現年度提案、質疑)、全員協議会、
予算審査特別委員会全体会議、委員会審査
- 26日 予算審査特別委員会全体会議
本会議(現年度採決、新年度提案)

3月

- 1日 本会議(質疑)、予算審査特別委員会全体会議
広報広聴委員会
- 2日 全員協議会
- 5日 全員協議会
- 9日 本会議(一般質問)、議会運営委員会
- 10日 本会議(一般質問)、全員協議会、議会運営委員会
- 11日 本会議(一般質問)、予算審査特別委員会全体会議
総合交通・産業活性化対策特別委員会
議会改革推進特別委員会
- 12日 委員会審査(新年度)
- 15日 委員会審査(新年度)
- 17日 議会運営委員会
- 18日 予算審査特別委員会全体会議、本会議(閉会)
全員協議会
- 24日 議会運営委員会
- 26日 広報広聴委員会
- 29日 会派代表者会議

4月

- 2日 ひなたの宿企業立地調印式
- 13日 広報広聴委員会
- 16日 広報広聴委員会

緊急メール訓練を実施しました

近年、大規模災害が頻発する中、特に震度7の揺れが2度も発生した2016年の熊本地震では、議会が開会できず専決処分が連発されたことにより、議会機能強化の重要性が再認識されました。

その教訓として、議会機能が早期に回復できるよう2019年に日南市議会災害時業務継続計画を策定。また、その取組の一つとして、安否確認等の緊急メール訓練を定期的に行っています。

2月17日には、全議員が被災の有無や現在の所在地、参集の可否など7項目を議会事務局にメールで返信し伝達方法を確認しました。

いざという時のために大切な訓練です。また、3月議会においては日南市議会基本条例を改正。

第4条 「議会は、災害時等においても、議会機能を的確に維持しなければならない」との文言が加えられました。

今後もより一層、災害時等における議会機能強化に努めて参ります。



令和3年6月定例会 開催予定

- 6月 21日(月) 本会議(開会)
- 6月 22日(火) 本会議(質疑)
- 6月 30日(水)、7月 1日(木)、2日(金)
本会議(一般質問)
- 7月 5日(月)、6日(火)、7日(水)
委員会審査
- 7月 9日(金) 本会議(閉会)

本会議の傍聴をご希望の方は、議会開催日に、ふれあい健やかセンター5階の傍聴者受付までおこしください。

(※受付の際に、検温・手指消毒・マスク着用のご協力をお願いします。)

編集後記

新年度を迎え、さわやかな初夏の風が吹く季節となりました。

新型コロナウイルス感染症は依然として世界中で猛威を振るっており、その勢いは一時期よりは鈍化しているものの、いまだに高いレベルで感染拡大が続いている状況にあります。そんな中、感染拡大を食い止める効果があると期待されているワクチン接種につきましては、医療関係者から開始され接種範囲が拡大されているところ。日南市では、接種を希望される方が安心してスムーズに接種できるよう、新型コロナウイルスワクチン接種推進室を設置しております。心配事など、何でもご相談ください。

4月には新市長も決まり、新たなスタートとなりましたが、私たち議員は今までも変わることなく、市民の皆さまの声を市政に届けてまいります。

日南市にお住まいの皆さまが、一日も早く日常を取り戻し、元気で明るく希望をもって生活ができますよう、心よりお祈り申し上げます。

【広報広聴委員会】

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 柿原 聡子 |
| 副委員長 | 杉尾 剛典 |
| 委員 | 黒部 麻起子 |
| | 岩永 俊泰 |
| | 和足 恭輔 |

(記) 柿原 聡子